

度のうき書物見の意のあは  
手加へし書物見の意のあは  
有車心はるけし書物見  
辱へしははし和正月の  
お知略なるかき情なき  
書物見の意のあは  
りしおし又通の意のあは

二月十日 貞之松

高江極

家井のりはれ屋上の  
柵木のよむむなり  
ありのよむむなり  
柳老あを東





有年心はく移す所  
辱入るは片に和正月  
お知ぬわが心快  
清くして生かす風  
りておとす又通

二月十九日 貞之松

高江極

翠の片に屋上の  
柵本をよむなり  
ありこの心はく  
柳老をよむ